

## 新クリーンセンター建設事業に係る事後調査報告書の概要について

## 5 新クリーンセンター建設事業

## (1) 事業の概要

① 事業者	佐久市・北佐久郡環境施設組合
② 事業実施区域	佐久市
③ 事業の内容	廃棄物焼却施設の建設
④ 事業の規模	処理能力 110 t / 日
⑤ 条例該当	第1種事業：ごみ焼却施設（処理能力4 t / 時（96 t / 日）以上）
⑥ 関係地域	佐久市、小諸市、軽井沢町及び御代田町

## (2) 事業の経過

H24. 7	環境影響評価方法書公告
H26. 4	環境影響評価準備書公告
H27. 4	環境影響評価書公告
H28. 6	対象事業着手報告書の提出

## (3) 事後調査報告書の概要

- 工事中における騒音、振動、水象、植物、動物、生態系の調査結果等を報告。
- 騒音・振動
  - ・施設本体建設工事中において、県道 156 号線パラダ駐車場前における工事関係車両の走行が当初の想定を上回る計画台数となることから、工事用車両走行前に調査予測評価を行い、環境保全措置を講じるとともに、工事用車両走行後に 1 地点において事後調査を実施。
  - ・騒音について、予測結果を 1 デシベル上回ったが保全目標を達成（本事業とは別の重機及びスキー場整備車両が稼働していたため予測を上回ったと思われる。）。
- 水象
  - ・観測井戸 2 地点、既存井戸 1 地点において、各月 1 回、地下水位を測定。
  - ・事後調査結果と評価書の調査結果を比較すると、ほぼ同様の水位であり、地下水位の低下はみられない。
- 植物・動物・生態系

ヤエガワカンバ	移植成木は、一部の枝の腐朽が進行。枝のキノコは当面様子見。 播種個体は、H27・1、H28・1、H29・1個体が順調に生育。H30移植幼木3個体は食害が見られたため防獣ネットを設置し、その後は順調に成長。
オニヒョウタンボク	移植成木は順調に活着。播種個体は、H27個体枯死、H29・1個体生育。 挿し木個体は、H29・2個体生育、H30個体枯死。H31. 3追加で挿し木を実施。
ギンラン	H25生育場所、H27、28移植場所では確認できず。H29確認地点周辺に生育。
ノジトラノオ	個体保護のためのロープ囲い内外に20個体を確認。生育に異常なし。
ヌマガヤツリ	粉塵付着による影響が懸念されたが、粉塵の付着は見られず順調に生育。
ナガミノツルキケマン	移植地点で22個体の生育を確認。粉塵による影響は見られない。
キクタニギク	粉塵付着による影響が懸念されたが、粉塵の付着は見られず順調に生育。
ミズオオバコ	工事排水温による影響が懸念されたが、計73個体の生育を確認。工事排水の集水場所はノッチタンク等であり、ミズオオバコの生育地に排出されないことから、影響はないと考える。
イヌハギ	粉塵付着による影響が懸念されたが、粉塵の付着は見られず順調に生育。
ベニモンマダラ	移植先のクサフジは前年度の倍以上に繁茂。成虫も継続的に確認。
クリイロベッコウ	移動後の調査を実施。生貝、死貝を確認。
希少猛禽類	ハチクマ、オオタカ、サシバ、ノスリ、クマタカ、ハヤブサ、チョウゲンボウ、トビが生息、工事に対する警戒行動はなし。 ハチクマ、ノスリ、トビの繁殖を確認。ノスリは本年度で調査を終了。
水生生物・生態系	工事排水温による影響が懸念されたが、水温の大きな上昇は見られず、また、水生生物等の主な生息環境である湯川に直接排水しなかったことから、影響は少ないと考える。